

研修会報告 “共育て時代”へ向けて “産後パパ育休”を考えよう！

ライフサポート部
活動報告 第86報
職場環境を考える

“産後パパ育休”についてどんなイメージがありますか？「赤ちゃんのお世話が出来るように」「産後ママが休めるように」「パパとしての自覚をもってもらうため」さまざまあると思います。ここで挙げた一例は、ごく短い期間に限られたことではないでしょうか。

2025年に改正される育児・介護休業法では、育休期間中だけではなく、ママ・パパ共に育休明け後の「子育てと仕事の両立支援」まで、一步踏み込んだ内容が盛り込まれることになりました。

ライフサポート部は女性PTが出産を機に離職し戻ってこない状況への危機感から始まった活動です。発足から20年の時を経て、男性のライフワークバランス、延いては、みんなで子育て、仕事、生活を考える“共育て時代”へと変化してきました。そこで、男性の育休取得や職場環境整備に焦点を当て、理解を深めることを目的に、初めて“産後パパ育休”をテーマに今年度最後の研修会を開催しましたので、その様子を報告させていただきます。



本研修会は以下の3部構成で行いました。

第1部

子育てを行う男性に特化した支援活動を行う Daddy Support 協会 代表理事 平野翔大先生を講師にお招きし、男性育休や男性育児の現状について産業医・産婦人科医の立場から、具体的な法改正内容やデータの提示、今後の課題を解決策などを交えての講義

第2部

実際に「産後パパ育休」を活用したパパPT・ママPTや、管理者の立場からの体験談をシンポジウム形式で学習

第3部

参加者が自身の体験や疑問に思ったことなど、グループディスカッション形式で、自由に発言・意見交換

活動報告Ⅱ ライフサポート部

本研修会参加者の6割が男性であり、30代～40代の参加が多く、育休取得がより現実的な世代がテーマへの関心を持って集まって下さいました。研修会後のアンケートでは、内容について「育休について具体的な参考になった」「男性育休の現状や方向性が理解できた」「データ提示があり、納得感があった」「時代に合ったテーマで非常に有意義」とすべての参加者から満足の声が聴かれました。また、「今後は子育て世代のスタッフに事前配慮できそう」「男性育休の普及に取り組みたい」「新人教育に組み込みたい」「育休取得の計画を職場や家族と共有したい」など、参加者の意識が高まり、「産後パパ育休」制度の普及や職場環境の改善に前向きな意見が多く聞かれました。

私自身もこの研修会を通して、あの時の私がこの話を聞いていたら、旦那さんともっと話し合っって子育てを考え、お互いに子供の可愛さと仕事へのやりがいを上手く感じられていただろうと思いました。そして、あの時の上司がこの話を聞いていたら、お互いに気持ちよく、育休に入る後輩たちを子育ての先輩として送り出してあげられていたのではないかと思います。

今回初の試みとして掲げたテーマであり、研修会は盛りだくさんの内容となりましたが、参加者皆様から好評の声を頂けたことを、ライフサポート部一同大変嬉しく思います。一方で、医療業界ではまだまだ取得率や取得期間が伸び悩んでおり、今後は男性の育休取得を多角的に捉え、深く議論を進めていくことが職場環境整備に必要であると感じられました。次年度以降、管理者向けの支援策や若手スタッフ向けの研修、“産後パパ育休”の普及啓発研修など、よりブラッシュアップさせた内容で実施していきたいと思います。ぜひ多くの方に聞いていただきたい内容ですので、皆様のご参加お待ちしております。

